



⑦まちなかを散策（野村屋）  
⑧茶道の作法を学ぶ  
⑨感想を述べる生徒



①各市の魅力を紹介  
②交流を深める生徒たち  
③小峰城見学



②



**8月5日（3日目）**  
お茶をいただきながら、交流を振り返る

3日目は、本市の生徒が先導してまちなかの自由散策を行い、城下町の歴史的な雰囲気を楽しみました。

その後、翠楽苑でお茶をいただきながら、解散式を行い、3日間の思い出を一人ひとり語りました。生徒からは「友好都市の良さがわかった」との声がありました。

**8月3日（1日目）**  
本市のシンボル小峰城を見学

市役所本庁舎正面玄関で、本市の中学生が行田市・桑名市の中学生を出迎え、正庁で歓迎式と交流会を行いました。交流会では、各市の特色などを紹介し合い、理解を深めました。

その後、小峰城で石垣復旧工事の説明を聞き、三重櫓を見学、本市のシンボルを肌で感じました。

# 白河の歴史文化を通して 交流を深める

## Pick up 「いじめ」について考える 3市中中学生フォーラム

8月4日、市立図書館りぶらん（道場小路）で、「いじめについて中学生同士が話し合う、「いじめフォーラム」が開催されました。市内8中学校の代表生徒に、行田市・桑名市の生徒が加わり、各校のいじめ防止の取り組みを発表したほか、いじめと感じる行為について意見交換を行いました。



▲フォーラムの様子



▲話し合う生徒たち

参加者からは、「みんなで協力していじめ防止に取り組みたい」などの意見が出されました。



④だるまの絵付けに挑戦  
⑤そば打ち体験  
⑥一生命運連鶴を折る生徒たち

**8月4日（2日目）**  
伝統工芸、食文化を体験

2日目は、渡辺だるま店でだるまの説明を聞き、絵付け体験をしたほか、関の森公園の関守亭でそば打ちを体験するなど、伝統工芸と食文化に触れました。

また、夜は全員で那須甲子青少年自然の家に宿泊し、桑名市の無形文化財である「連鶴」づくりにも挑戦しました。

友好都市である白河市、埼玉県行田市、三重県桑名市の中学生交流事業は、歴史や文化のテーマに沿った学校での取り組みや交流を通して、それぞれの良さを知り、歴史的な理解を深めることを目的に始まりました。

今年度は、白河市合併10周年を記念し、本市を会場に、8月3日から5日までの3日間、行田市から4人、桑名市から5人、本市から市内8中学校16人、計25人の生徒が交流を深めました。

生徒たちは、小峰城の見学や白河だるまの絵付け体験などを通して、本市の歴史、文化、伝統に触れました。

さらに、「いじめ」について考えるフォーラムを開催し、市内8中学校の代表生徒たちに、行田市・桑名市の生徒が加わり、いじめ問題について話し合い、意見を交わしました。

交流事業参加者

昨年度から、友好都市3市の中学生交流事業が行われています。今年は、8月3日から5日までの3日間、中学生25人が、本市の歴史、文化、伝統などを学びながら交流を深めました。

今月号では、その様子を紹介します。

●本庁舎学校教育課 ☎1111 内2360

交流事業参加者		
高橋可純	さん	中央中
海老原晃	さん	白二中
添田慶希	さん	東北中
櫻井宗一郎	さん	南中
青木英里佳	さん	五箇中
真船佑果	さん	表郷中
田之上桜子	さん	東中
深谷菜未	さん	大信中
佐藤真衣	さん	
鈴木莉乃	さん	
沼田光輝	さん	
藤田萌愛	さん	
金澤由奈	さん	
梨本あめ	さん	
小山琴乃	さん	
岡部白華	さん	